

不動産鑑定士 びわ湖会議 参加申込書

不動産鑑定士びわ湖会議への参加を希望します。

ふりがな 氏名 森島信夫	所属士協会 (公)岐阜県不動産鑑定士協会	協会登録番号(個人) 000000000
受講票送付先住所 〒 500-0000 岐阜県 鄙里 茅屋 蛙馬羅哉		連絡先電話番号 000-000-0000

地価公示の地点縮小や業務日程の意味の乏しい細密化、相続税路線価の見直し、固評のルーテインワーク化、クライアント・プレッシャー問題、事例資料を適切に活用する施策を置き去りにした新スキーム改善問題、何よりも歯止めが掛からない鑑定需要の縮小と評価報酬の低廉化問題 などなど様々な問題点が指摘されていながら、当面の対策すらの確に実施できない鑑定業界の有り様は、とても憂慮されます。

昭和末期から平成にかけて一つのピークを得た鑑定業界は、その後にやってきた公共事業の縮小や経済情勢の変化に対応できず、マイナスのスパイラルの一途を辿っていると言えます。それはピーク時に自らの主導で次の手を打たなかった業界の辿るべき必然性とも言えます。

資格者受難の時代とは云われていますが、まだまだ公的評価や民需に相応の鑑定評価需要が残されているあいだに、確かな戦略の元に適切な戦術を模索するべきであろうと考えます。鑑定評価制度が創設された五十年前と異なる今の状況、すなわち、a. コンピュータとインターネット時代でありデジタル化の時代であること、b. 少子高齢化社会が到来し地方が疲弊し、都会にも高齢化が急速に進み買い物困難地域が現れていること、c. 公共事業はメンテナンスすら覚束無くなりかねない状況にあること、d. 地理情報が急速に浸透しスマートフォンでも位置情報が簡単に得られる時代にあること、 などなどに対応する戦略が求められていると考えます。

とは申しましても、確かな戦略が容易に得られるわけではないでしょう。過去の成功体験を捨てる勇気、鑑定評価基準さえ乗り越えてゆく気概、何よりも国交省や鑑定士協会連合会に頼らない自立と自律の自覚が求められていると考えますし、挑戦する勇気が鑑定士一人ひとりに求められていると考えます。

この申込用紙に必要な事項とあなたのご意見をお書きの上、メールに添付して下記返信先までご返信ください。

その際、件名は必ず「【びわ湖会議・氏名・都道府県】」(例:【びわ湖会議・山田太郎・滋賀】)としてください。

同時に下記口座へ参加費をお振り込みください。

参加費入金確認後、領収証、受講票、御案内等を郵送させていただきます。

- 返信先 不動産鑑定士びわ湖会議実行委員会 メール
- 振込先 滋賀銀行 本店 普通預金 鑑定士協会